i-CRAS (Corporate Risk Assessment Survey)

診 断 報 告 書

株式会〇〇〇〇御中

本資料は貴社との協議及び貴社内のご検討を目的として作成されたものです。弊社の了解なく本資料の一部又は全てについて複製・譲渡又は開示することは禁止します。本資料中の条件、数字、スキーム、ストラクチャー、時期その他の内容は確定的なものではなく、今後諸般の事情により変更される可能性があります。
又、本資料に関わる取引に関連したリスクを全て特定、網羅するものではなく、利益を保証するものではありません。

Copyright© 2009, Document House Group

1 概要

1.1 要旨

株式会社ドキュメントハウス（以下、当社）は、株式会社○○○○（以下、貴社）の依頼により企業リスクアセスメント診断（以下、i-CRAS）を実施いたしました。また、本診断は、以下の手順で実施されました。

①貴社事務局メンバーの選定と登録
②リスク評価者の選定と登録
③当社からの基本リスク評価項目の提供
④基本リスク評価項目の一部削除と追加、定義内容のすり合わせ・変更
⑤リスク評価期間の決定
⑥リスク評価者へのアクセスパスワードの交付
⑦リスク評価者によるリスク評価の実施
⑧事務局管理者によるリスク評価の進捗状況管理
⑨リスク評価者のリスク評価終了に伴うリスク評価結果分析
⑩企業リスクアセスメント診断結果のご報告

1.2 実施概要

■ 対象企業　：株式会社○○○○
■ 実施期間　：2008 年 7 月 1 日～7 月 14 日
■ 対象リスク数　：232 リスク（貴社選定による）
■ 有効対象者数[注1]　：50 名
■ 調査方法　：アンケート手法による影響度 / 頻度分析（以下の 6 段階評価）

影響度				頻度		
1	Minimal	⇒	1000万円未満	a	Regular	月に1度程度
2	Low	⇒	1000万円以上	b	Frequent	数ヶ月に1度位～年に1度程度
3	Minor	⇒	1億円以上	c	Moderate	数年に1度位～5年に1度程度
4	Significant	⇒	10億円以上	d	Rare	5年以上に1度位～25年に1度程度
5	Huge	⇒	25億円以上	e	Very Rare	25年以上に1度位～100年に1度程度
6	Catastrophic	⇒	100億円以上	f	Unanticipated	それ以上の長い期間に1度程度

■ 抽出結果　：個別抽出結果分析より適正・適切に評価されたことを確認

（注 1）詳細な評価対象部署及び評価個別人数は、2007 年 7 月 21 日に当社より提供いたしました「貴社　企業リスクアセスメント診断結果のご案内」をご参照ください。

1.3 本書の構成

本報告書は 8 つの主要なセクションで構成されています。

- リスクマップのリスク分布形状
- マップエリア別ワーストリスクランキング
- 影響度・頻度分析
- 総合評価におけるワースト 10 リスク
- リスク区分評価結果
- 変化率ランキング・ワースト／ベスト 10
- 総評

Copyright© 2009, Document House Group

2　診断の目的・範囲

本診断目的は、会社経営の視点から貴社の全社的リスクを洗い出し、そのリスクの頻度や影響度を相対的に捉えることにより、その対策の優先順位を明確にすることにあります。

2.1　診断の範囲

本診断によって洗い出されたリスクやそのリスクへの対応趣旨は、以下の法律・法令の施行に伴い、各省庁や団体から開示されたガイダンス、意見書等に準拠したものです。

- 経済産業省「コーポレートガバナンス及びリスク管理・内部統制の構築・開示のための指針」において記載された以下の2つの要点に準拠しています。
  1. 「トータルにリスクを認識・評価」
  2. 「リスクへの適切な対応」
- 会社法施行規則第100条に記載された「損失の危険の管理に関する規程その他の体制」に求められる「重大なリスク」の洗い出しと対応に準拠しています。
- 金融庁「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の設定について（意見書)」に記載された「内部統制の基本的枠組み」における「リスクの評価」「リスクへの対応」に準拠しています。
- 日本監査役協会「内部統制システムに係る監査の実施基準」における「損失危険管理体制に関する監査」において記載された以下の3つの要点に準拠しています。
  1. 損失の危険の適正な管理に必要な諸要因の事前の識別・分析・評価・対応に重大な漏れ・誤りがあった結果、会社に著しい損害が生じるリスク
  2. 会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事業活動が正当な理由無く継続されるリスク
  3. 会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事故その他の事象が現に発生した場合に、適切な対応体制が整備されていない結果、損害が拡大しあるいは事業が継続できなくなるリスク

Copyright© 2009, Document House Group

3　分析・評価

3.1　リスクマップのリスク分布形状（45 ページ）

2007年　　2008年　　2009年（本年度）

リスクマップの推移

全体のリスクの分布形状は『安定型』で、極端なキャッシュフロー破綻に追い込まれる回避リスクや移転リスクは少ない抽出結果となりました。また、高いリスクの影響度が減少して来ています。一方で、昨年と同様に低減エリアにおいて多くのリスクが拡散しており、広い分野で頻度の高いリスクも抽出されました。

[illegible]

[illegible]

次年度以降も本結果を踏まえて継続的にリスクの定量的監視・変移の検証を確実なものとするために、社内全体におけるリスクの捉え方を各リスク評価者に対して啓蒙するとともに、改善へのプロセスを実施していく必要性があると考えます。

3.2　マップエリア別ワーストリスクランキング（46 ページ）

各エリアにおいて以下のような特徴的な傾向が抽出されました。

①回避リスク（影響度・頻度とも重篤なリスク）

このエリアにおいては、影響度・頻度とも高いリスクが配置され、会社法上の「重大なリスク」や金融商品取引法の全社的リスクの「重要性評価後のリスク」に該当します。貴社においては以下の１つのリスクが抽出されました。

- [illegible]

[illegible]

②低減リスク（頻度が高いリスク）

影響度に対して（発生）頻度が極めて高いリスクが当該エリアに配置されます。一般的には業務プロセスリスクが配置されやすい傾向にあります。貴社においては以下のような特徴が見られました。

Copyright© 2009, Document House Group

【第一の特徴】

「業務の複雑化・処理量の増大」が低減エリアのワースト1位となりました。

「I. 業務プロセスに関わるリスク」がワースト30位の中に10ランクインしました。

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

【第二の特徴】

昨年、ワースト30までの中に13の「H. 戦略リスク」がランクインしておりましたが、[illegible]

[illegible]

昨年度

[illegible]

本年度

[illegible]

Copyright© 2009, Document House Group

2008 年　　　　　　　　2009 年（本年度）

※赤線が本年度、青線が昨年度

「H. 戦略リスク」のリスクマップ

【第三の特徴】

「N. 権限体系に関わるリスク」が 5 つランクインしましたが、昨年と同じ内容のリスク

昨年度

本年度

2008 年　　　　　　　　2009 年（本年度）

「N. 権限体系に関わるリスク」のリスクマップ

Copyright© 2009, Document House Group

③移転リスク（影響度が高いリスク）

頻度に対して影響度が極めて高いリスクが当該エリアに配置されます。貴社においては以下の 5 つのリスクが抽出されました。

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

抽出された 5 つのリスクは昨年の上位 5 つのリスクと同様で、順位もほとんど変化ありません。

3.3　影響度・頻度分析（19 ページ～）

影響度分析においては一般的にも多く抽出される「H. 戦略リスク」が、ワースト 30 位まで [illegible]

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

外部要因リスクに視点を移すと、ワースト 30 に外部要因に区分されるリスクが 11 抽出さ [illegible]

一方、頻度分析においては昨年と同様に貴社特有の評価結果が抽出されました。[illegible]

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

Copyright© 2009, Document House Group

[illegible]

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

[illegible]

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

[illegible]

総体的な観点から頻度分析に抽出されたリスクを検証すると、ワースト 30 位（リスク数は 31）までのリスクの内、30 ものリスクが内部要因に区分されるものがランクインしてお[illegible]

3.4　総合評価におけるワースト 10 リスク（10 ページ）

（1）[illegible]
（1）[illegible]
（3）[illegible]
（4）[illegible]
（4）[illegible]
（6）[illegible]
（7）[illegible]
（8）[illegible]
（9）[illegible]
（9）[illegible]

今回、3 つがランクインした「I. 業務プロセスに関わるリスク」は一般的にも良くランクインしてくる内容のものです。[illegible]

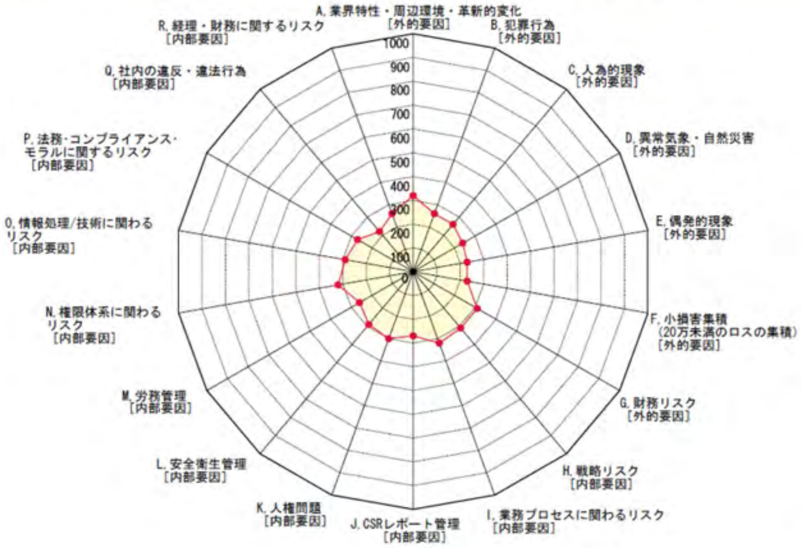
これら上位にランクインしたリスクについては内容を詳細に検討し、優先的に対策をとる必要があると思われます。

Copyright© 2009, Document House Group

3.5　リスク区分評価結果（9ページ、28ページ）

項目別評価

各項目におけるリスクの評価点を1000点表示しており、点数が大きいほど各項目に含まれるリスクが高いことを示します。



Copyright© American International Group, Inc. All rights reserved Since 2006.

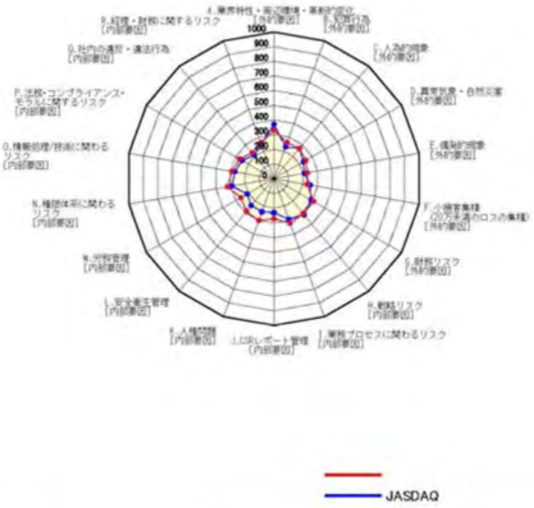
2009.8.24 – 2009.9.4 00008　9

項目別評価レーダーグラフ

Copyright© 2009, Document House Group

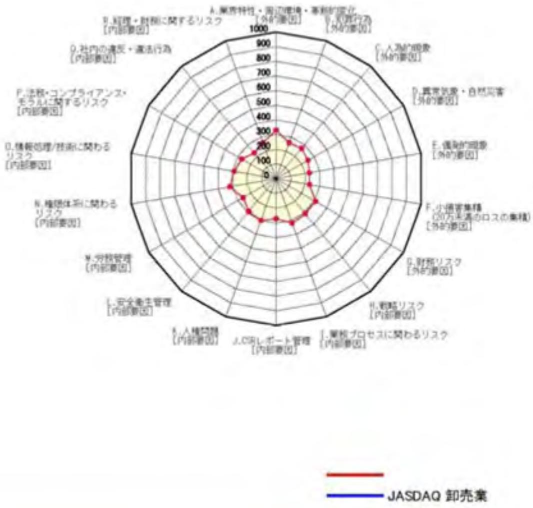
市場別評価

貴社所属の証券取引所に属する企業群との比較は次のとおりです。



業種別評価

貴社と同業種の他企業との比較は次のとおりです。



Copyright© American International Group, Inc. All rights reserved Since 2006.

2009.8.24 – 2009.9.4 00008 28

項目別評価レーダーグラフ

貴社はリスク保有に関し、同市場の他社と比較した場合、全体的にはほぼ同等或いはやや高いレベルのリスクを有していると認識されているようです。

3.6 変化率ランキング・ワースト／ベスト 10（30、31 ページ）

昨年の評価結果と本年度の評価結果を比較検証し、その変化率の大きさを表したものが当該ランキングです。

Copyright© 2009, Document House Group

[illegible]

総合評価			影響度			頻度		
設問NO.	リスク	変化率	設問NO.	リスク	変化率	設問NO.	リスク	変化率
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

変化率ランキング・ワースト 10

[illegible]

総合評価			影響度			頻度		
設問NO.	リスク	変化率	設問NO.	リスク	変化率	設問NO.	リスク	変化率
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

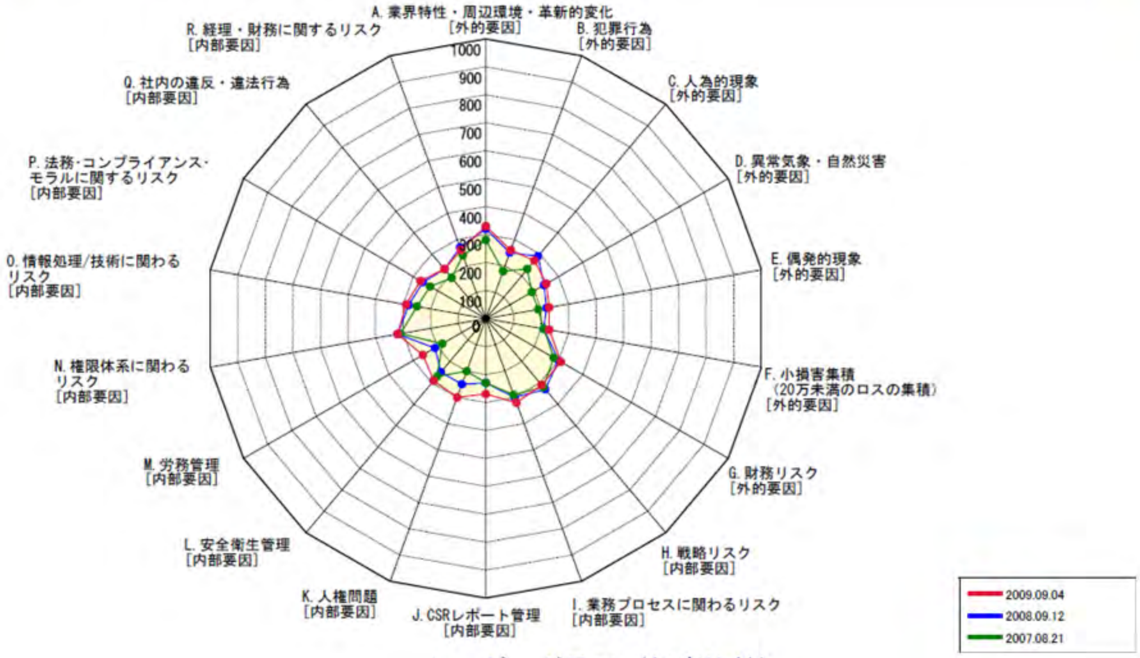
変化率ランキング・ベスト 10

3.7 総評

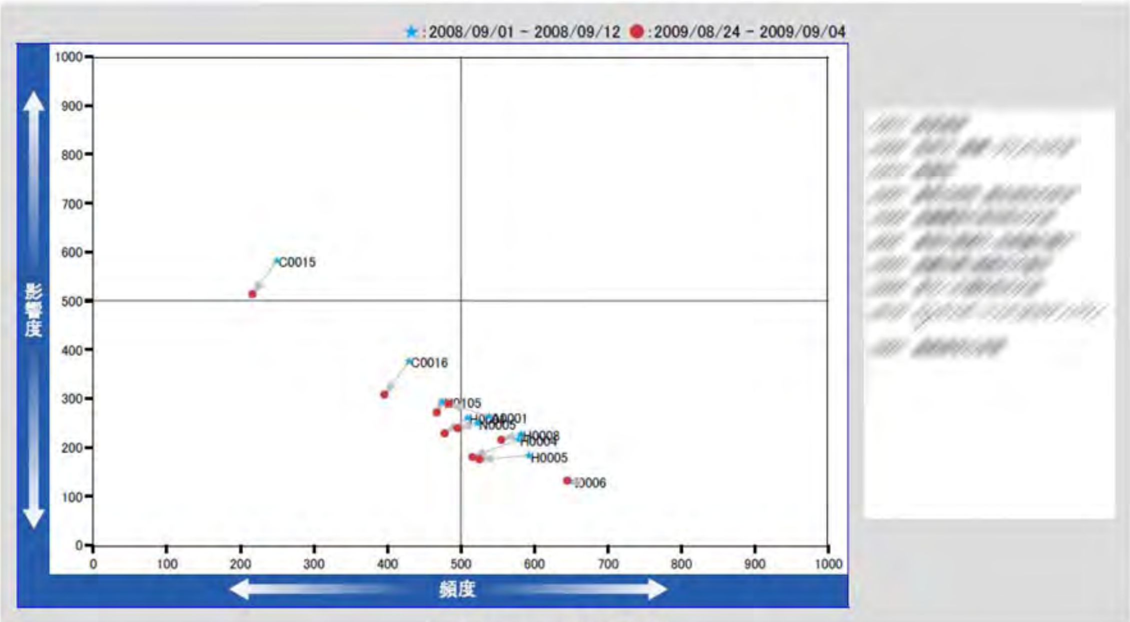
貴社におかれましては、昨年度のリスクアセスメント診断結果に基き多くの改善活動を実施されております。その結果が良い方向性と副次的な方向性にて具現化されたのが本年度のリスクアセスメント診断結果であると考察されます。

[illegible]

Copyright© 2009, Document House Group



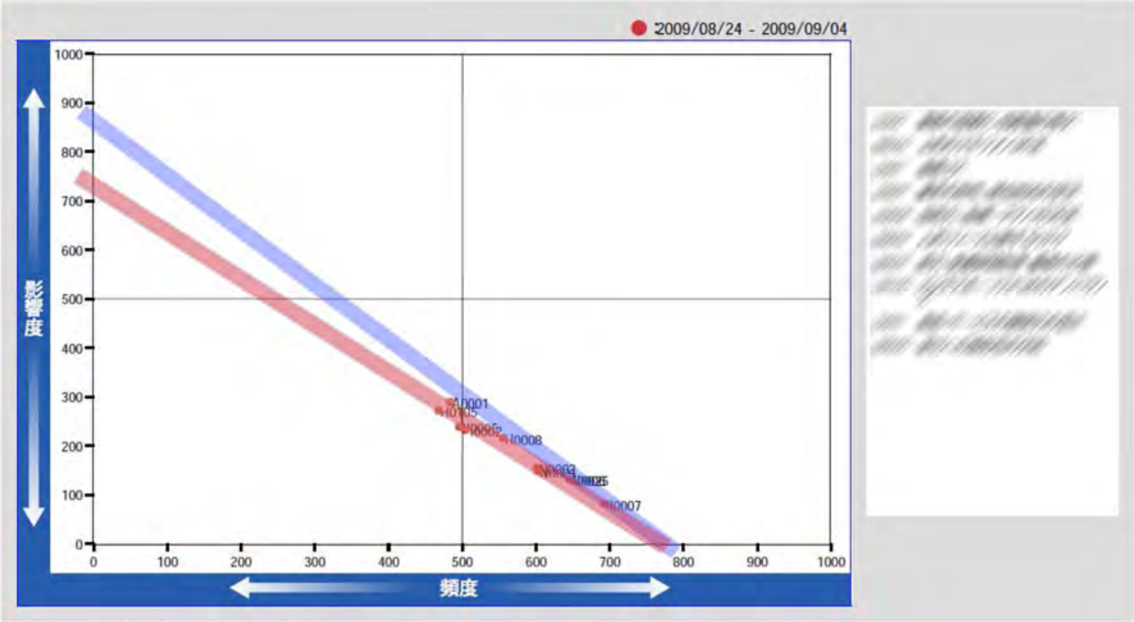
レーダーグラフ（年度比較）



リスクマップの推移

また、昨年度と本年度のワースト 10 を比較しますと、全体的に影響度においてリスク値が減少していることが見て取れます。

Copyright© 2009, Document House Group



※赤線が本年度、青線が昨年度

ワースト10　昨年度と本年度の比較

以上のように、昨年のリスク評価結果に基く改善策の実施が、結果として表れつつも、昨年と同様のリスク傾向が存在しているとの結果も出ております。貴社におかれましては、本年度も昨年度に続き、更なるリスクに対する改善活動の実施を推し進められることを推奨いたします。

Copyright© 2009, Document House Group